

(別紙様式第6号)

## 特定地域経営支援対策事業点検評価結果報告書

報告年度	平成 29 年度
------	----------

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
1	北部	広域 (パイン選果場951.38㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	経営面積の拡大及び農業経営の法人化は目標達成されているが、施設の利用状況は生果用及び加工用選果場ともにパインの集荷実績が低く、4年連続目標未達成である。	農家への奨励金として40円/kg値上げして、100円/kgとし、農家の生産意欲の増大や面積の拡大及び新規就農者の増加につなげ、集荷量の目標達成を目指す。
2	沖縄本島 北部	沖縄県北部広域 (パイン育苗施設2,340㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	平成31年度	経営面積の拡大及びパインの育苗生産量は目標を達成している。	特になし(パインアップル育苗施設は目標を達成している。育苗栽培は順調である)
3	伊是名村	東部 (風乾施設192.3㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	経営面積の拡大は目標未達成である。また、水稻の生産量は目標達成しているが、野菜(タマネギ・カボチャ)の生産量は目標未達成である。	経営面積の拡大では圃場整備での園芸団地を確保し、利用権設定を進め、H29年度で目標達成をする予定である。また、野菜の集荷量においては関係機関連携の下、栽培技術指導が必要である。
4	伊平屋村	伊平屋 (トラクター等一式)	平成26年度	平成31年度	生産コストの縮減及びトラクター稼働面積は目標達成されている。	トラクター等稼働面積では目標を達成している。トラクター等の受委託活用においては必ずアワーメーターを日々記録することを指導した。また、日誌や機械修理等の記録を記帳することを助言した。
5	名護市	勝山 (ペットボトル充填ライン一式)	平成25年度 (平成26年度繰越)	平成30年度	新規作物の導入は目標達成されている。	原料仕入数量及び地区内農産物量はすべて目標を達成している。しかし、施設運営に係る収支状況及び収入計画に対する収入実績割合が伸び悩み未達成となっている。
6	本部町	本部 (粗飼料管理機一式)	平成24年度	平成29年度	生産コストの縮減及び農業経営の法人化は目標達成されている。	特になし(粗飼料管理機受益面積は目標を達成し、アワーメーターや日誌等も記帳されている)

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
7	本部町	本部 (粗飼料管理機一式)	平成27年度	平成32年度	生産コストの縮減は目標を達成しているが、農業経営の法人化はまだ達成していない。	粗飼料管理機受益面積では目標を達成しているが、法人化の手続きを早めに着手することを指摘した。
8	宜野座村	カタバル (野菜平張9,744㎡ 花卉温室4,332㎡)	平成25年度 (平成26年度繰越)	平成30年度	経営面積の拡大及び農業経営の法人化は目標を達成している。	特になし(利用計画に対する利用状況はベビーリーフの出荷量及び観葉・鉢物の出荷量は目標を達成している)
9		宜野座 (イチゴ育苗施設1,872㎡ 攪拌庫90㎡)	平成27年度	平成32年度	新規作物の導入は目標を達成しているが、生産コストの縮減は目標未達成である。	イチゴ苗供給量は目標を達成している。しかし、生産コストの縮減が全くみられないので、イチゴ育苗施設の活用方法を検討する必要がある。
10	読谷村	西部 (花卉平張施設13,618.8㎡ 花卉平張施設12,701.5㎡ 花卉平張施設12,805.8㎡)	平成23年度 (平成24年度繰越)	平成28年度	経営面積の拡大は目標を達成している。	特になし(利用計画に対する利用状況は小ぎくの生産量がすべての経営体で目標を達成している)
11		第二西部 (野菜温室6,744㎡)	平成24年度	平成29年度	経営面積の拡大は目標を達成している。	ゴーヤーの生産量は4年連続目標未達成である。全体的に病害虫の多発により生育期間が短縮されたり、体調不良の生産農家がいたため、目標収量を下回った。
12	南風原町	南風原 (さとうきび収穫機械一式)	平成25年度	平成30年度	生産コストの縮減が計画で5戸であるが実績が4戸で未達成となっている。	収穫受委託作業の計画的な推進を図り労働時間の縮減を目指したコスト低減を図るよう関係機関と連携した改善措置が必要である。
13		南風原第2 (産地形成促進施設981.5㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	平成31年度	利用計画に対する利用状況が48.9%となっており未達成となっている。	葉野菜類の栽培を促進し地区内野菜の生産量を増やすこと。 島野菜類を中心とした少量多品目の生産を促進すること。
14		南風原・津嘉山 (野菜温室5,814㎡)	平成27年度	平成32年度	経営面積の拡大及び新規品目の導入は成果目標が達成されている。	

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
15	八重瀬町	やえせ (やさい育苗施設2,992㎡ 果樹温室13,350㎡)	平成26年度	平成31年度	新規品目の導入及び農産物の品質向上は成果目標が達成されている。	
16		具志頭 (野菜温室11,505㎡ 野菜温室5,382㎡)	平成27年度	平成32年度	経営面積の拡大及び新規品目の導入、生産コストの縮減は、それぞれ成果目標が達成されている。	
17	豊見城市	保栄茂・饒波 (野菜温室14,346㎡)	平成25年度	平成30年度	経営面積の拡大及び新規品目の導入、農産物の品質向上は、それぞれ成果目標が達成されている。	
18		豊見城 (野菜温室8,676㎡ 果樹温室6,780㎡)	平成27年度	平成32年度	経営面積の拡大及び新規品目の導入、農産物の品質向上は、それぞれ成果目標が達成されている。	
19	糸満市	喜屋武・糸洲 (花卉温室7200㎡ 花卉集出荷施設495㎡ ハイマストフォークリフト花卉選別施設533㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において経営面積の拡大は達成されているが農産物の品質向上は50%で未達成となっている。	小ぎく栽培における施肥管理、病害虫対策等の栽培講習会を関係機関と連携し支援し、小ぎくの品質向上成果目標達成を図る。
20		阿波根・北波平 (野菜温室7,273.5㎡)	平成25年度	平成30年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において経営面積の拡大は達成されている。	
21		真壁・真栄平 (レタス集出荷貯蔵施設493.3㎡ マルチャー・トラクター等一式)	平成26年度 (平成27年度繰越)	平成31年度	生産コストの縮減が実績で66.6%で未達成となっている。	生産コストの未達成は、販売単価が低迷したことにも要因があり今後は単価の高い時期を出荷目標に作型の改善を図るとともに高品質のレタス栽培に取り組むことを関係機関と連携し支援する。
22		喜屋武 (集出荷貯蔵施設148.5㎡ トラクター、ロータリー、肥料散布機一式)	平成27年度	平成32年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において経営面積の拡大は達成されている。	にんじん栽培における土地の利用権設定を推進し農地の利用集積を図りながら経営面積の拡大を関係機関と連携し支援する。

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
23	久米島町	久米島 (農産物処理加工施設300㎡ ペースト加工設備一式)	平成27年度	平成32年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において新規品目の導入は達成されているが経営面積の拡大は未達成となっている。	さとうきびとの輪作体系により年により、かんしょの栽培面積は減少する場合もあるが、かんしょ栽培契約農家との面積拡大を図りながら加工原料の確保を関係機関と連携し支援する。
24	南大東村	南大東 (整備・研修施設717.5㎡)	平成27年度	平成32年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において生産コストの縮減は未達成となっている。	事業導入された研修施設の利用計画を利用目的に応じて取り組むよう支援する。
25	宮古島市	城辺東部 (さとうきび収穫機械等一式 粗飼料管理機)	平成23年度	平成28年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において農業経営の法人化は達成されている。	
26	宮古島市	みやこ (さとうきび収穫機械等一式 野菜温室5,265㎡ 野菜温室6,084㎡ 産地形成促進施設862㎡)	平成24年度	平成29年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において新規品目の導入、農業経営の法人化は達成されている。	
27		みやこ第2 (さとうきび収穫機械等一式 さとうきび収穫機械一式 集出荷施設3,260.75㎡)	平成25年度	平成30年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において新規品目の導入、農業経営の法人化は達成されている。	
28		みやこ第3 (さとうきび収穫機械等一式、 さとうきび収穫機械等一式)	平成26年度	平成31年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において経営面積の拡大、農業経営の法人化は達成されているが生産コストの縮減は未達成となっている。	特に、トラクターの利用計画を事業計画に基づいた受委託を促進し生産コストの縮減の成果目標を関係機関と連携し支援する。
29		みやこ第4 (畜舎・粗飼料管理機一式 さとうきび収穫機械一式)	平成27年度	平成32年度	意欲ある多様な経営体の育成・確保において経営面積の拡大は達成されている。	

No	市町村名	地区名	事業年度	目標年度	点検評価結果	改善措置等
30	石垣市	石垣南第一 (野菜温室5,541.8㎡ 野菜温室3,022.8㎡ 野菜温室3,022.8㎡)	平成24年度	平成29年度	経営面積の拡大や新規作物の導入及び農産物の品質向上はすべて目標を達成している。	特になし(利用計画に対する利用状況は3経営体とも目標を達成している)
31		石垣第二 (野菜温室3,910.5㎡ 野菜温室4,598㎡ 野菜温室5,140㎡)	平成24年度 (平成25年度繰越)	平成29年度	経営面積の拡大や雇用者の確保は目標を達成している。	大底野菜生産組合においては野菜の生産量が目標未達成である。他の2経営体においては目標を達成している。但し、ゴーヤー主体の野菜生産となっているが、必ずしもそうでない場合もみられ、関係機関と連携した指導が必要である。
32		石垣中西部 (果樹温室4,392㎡)	平成25年度 (平成26年度繰越)	平成30年度	経営面積の拡大や新規作物の導入及び農産物の品質向上はすべて目標を達成している。	今年度からマンゴー生産量の実績報告が始まったが、目標達成している。マンゴー農家においては栽培技術にばらつきがみられるので、関係機関の連携の下、栽培技術や農業経営の指導も必要である。
33		石垣第四 (果樹温室12,834㎡、 野菜温室7,932㎡)	平成26年度 (平成27年度繰越)	平成31年度	経営面積の拡大や新規作物の導入及び農産物の品質向上はすべて目標を達成している。	大道原野菜生産組合では野菜生産量が目標未達成である。関係機関による栽培技術や栽培時期の適切な指導が必要である。石垣第一マンゴー生産組合は3年目からの実績報告なので、来年の結果樹づくりには十分留意すべきである。
34		石垣第五 (果樹温室8,190㎡)	平成27年度	平成32年度	経営面積の拡大と新規作物の導入では計画目標を達成している。	定植後1年目でまだ幼木であり、マンゴーの生産は始まっていない。ただし、樹幹が広がるにつれ、剪定も検討すべきだが、関係機関の協力も得て適切な対応策をとる必要がある。
35	竹富町	西表東部 (ばれいしょ管理機一式)	平成24年度	平成29年度	経営面積の拡大において、農業委員会の協力の下、利用権設定が可能となり、目標を達成することができた。	ばれいしょ管理機械受益面積では目標未達成である。関係機関の指導の下、ばれいしょ栽培の講習会等による技術習得が必要がある。そうか病や青枯れ病に対する防除技術の徹底を図ることも重要である。

- (注) 1 目標年度までの各年度においては、目標達成状況の報告内容を点検し、その結果を記入する。  
2 目標年度においては、目標達成状況及び事業評価結果の報告内容を踏まえて点検評価を行い、その結果を記入する。  
3 目標未達の場合は、その要因を分析し、必要な改善措置等を記入する。  
4 目標達成状況報告書を添付する。